

# 英語科学習指導案（1年）

平成28年11月17日（木）第5校時（13:35～14:25）

指導者 T1 藤生 朋子 T2 新井 彰典

ALT Tristan Reynolds

## 1 題材名 「ALT DAYで、他校のALTの先生達にインタビューをして、情報を聞きだそう」

（単元 NEW HORIZON 1 Unit7 ブラジルから来たサッカーコーチ）

## 2 考察

### (1) 題材観

#### ①学習内容：学習指導要領上の位置づけ

- ・イ 話すこと (イ) 自分の考えや気持ち、事実などを聞き手に正しく伝えること。  
(エ) つなぎ言葉を用いるなどのいろいろな工夫をして話を続けること。
- ・エ 文法事項 d 疑問文のうち、動詞で始まるもの、助動詞で始まるもの、orを含むもの及び疑問詞 (how, what, when, where, which, who, whose, why) で始まるもの

#### ②伸ばしたい（身に付けさせたい）資質・能力

- ・①一文加える②自ら質問する③相手の言葉にリアクションすることを意識して、会話する活動に積極的に取り組もうとする態度。
- ・聞いたり話したりした内容について、他者に伝える力。
- ・疑問詞(who, what time, which)の用法についての知識及び活用する力。

#### ③そのために必要な指導・学習活動

- ・相手の話す内容を聞いて、適切な相づちを打ったり、適切な質問をしたりする活動。
- ・新出表現を用いて自分や他人の情報を正しく聞き取ったり、伝えたりするための活動。
- ・質問をしたり答えたりするために必要な既習表現を継続的に復習するインプットを重視した言語活動。

### (2) 生徒の実態及び指導方針（男子17名 女子15名 計32名）

#### ①既習の学習内容や活動

- ・一般動詞やbe動詞を用いた自己紹介、他者紹介とその内容についての問答。
- ・話している内容を第三者に聞かれている状況での3人組で行う会話活動。
- ・既習表現を繰り返し言ったり、聞いたりする帯活動。
- ・一般動詞やbe動詞を用いた自己紹介文や、他者紹介文を書く活動。

#### ②実態および方針

- ・事前のアンケート結果では、「自分の考えを英語で人に伝えたいと思いますか」という質問に対して、85%の生徒が「とてもそう思う」または「そう思う」と回答している。「そう思わない」と回答した生徒からは、「英語は苦手な自信がないから」「日本語で通じるならそれで十分だと思うから」などの意見が挙げられた。このことから、自分から情報を発信したり、積極的に会話したりすることの重要性は多くの生徒が理解しているが、実際の場面で習ったことを使うイメージがなかなか持てないことで、話すことに抵抗感を持ってしまっている生徒がいる実態があることが分かった。そのため、「そう思わない」と答えた生徒に対しての手立てとして、ゲーム形式でALTに質問をさせたり、実際にALTと対話する場面を取り入れ、自ら英語で質問させることに慣れさせたりすることが必要であると考え。最初は一問一答になってしまうが、繰り返し行うことで、「質問できた」「答えられた」という自信をつけさせ、自然な会話へと発展させていきたい。
- ・「自分から質問をして会話を続けることについて」という質問に対しては、「とても得意」「どちらかと言えば得意」と答えた生徒と、「とても苦手」「どちらかと言えば苦手」と答えた生徒が、ほぼ半数ずつであった。そのため、グループの中に、意図的に英語が得意だと答えた生徒と苦手だと答えた生徒を入れることで、苦手な生徒にも会話をする楽しさを味わわせたい。さらに、「得意」と答えた生徒からは、「一文加えることや、相手のことばにしっかりリアクションすることを意識すれば、途切れることなく会話を続けられるから」「Do you～?やWhat～?などを使い、

単語を少し換えればなんとか会話が続けられているから」などの理由が挙げられた。一方、自分から質問できない理由について、「とっさの時に思いつかないから」「まだあまりたくさん表現を知らないから」などの理由が多く挙げられた。このことから、即興性が求められたり、さらに話を深めようとしたときに言葉が出てこず、「苦手」だと感じてしまっている生徒がいる実態があることが分かった。即興性を高めるために、疑問文の一覧表を作成し、帯活動の一環として毎時間インプット活動を行うだけでなく、その表現を使ったグループでのインタビュー活動や会話活動を継続的に行わせることで、自然な対話の中で即興的に既習事項を発話できるようにしていきたい。

- ・事前のテスト結果から、疑問詞を用いた"What sport do you like?"という英文を作成する問題で、"What do you like sports?" や、" What's sports do you like?"などの間違いが多く見られた。本単元を通して、帯活動や、実際に活用させる場面を設けることで、疑問詞の正しい発音や、語順についての知識を身に付けさせたい。
- ・ALT の発音などには慣れ親しんでいるが、実際に1対1で話すことにはまだ慣れていない生徒が多いため、1対1で会話する場面を設けることで、ALT DAY で実際に初対面のALT と会話ができるようにしたい。
- ・本単元で身に付けた疑問詞を繰り返し使用させたり、必然性があるコミュニケーション活動で活用させたりすることで、新出表現の定着と、発信力の向上につなげたい。

#### ※ 「ALT DAY」について

桐生市のALT 4、5人が1校に集まり、授業を行う。ALT DAY では、一人のALT について班でインタビューし、協力してより詳しいインタビュー記事を作成させる。当日のインタビューの様子を各ALT から聞き取り、パフォーマンス評価を行う。

#### 本校英語科が考える交流活動

##### 《目的》

- ①コミュニケーションへの積極的な態度を身に付けるための交流活動
- ②自分の発信した情報を確認・修正するための交流活動
- ③情報を発信するための技能を向上させるための交流活動

##### 《具体的な方法》

- ①与えられた場面にふさわしい表現を用いて会話を続ける活動
- ②生徒同士で作品や活動を評価し合う活動

##### 《振り返り活動》

会話の流れに沿って、適切な表現を用いることができるかどうかを、類似問題や自己評価で振り返らせる

### 3 校内研修とのかかわり

研修主題「確かな学力を身に付け、主体的に学ぶ生徒の育成—各教科における『考え、表現させる』ための交流活動を通して—」に迫るために、本年度は、特に「明確な目的をもった交流活動の設定」、「学びの実感が確認できる振り返りの時間の設定」を重点として、研究が進められている。

そこで、本題材では、「どちらが好きか」を尋ねたり答えたりする表現を定着させるために、「インタビューという場面設定の中で、新出表現を活用すること」「聞き取った情報をグループで共有すること」を目的とした交流活動を設定した。

また、振り返りの活動は、自分が質問できたことと、それに対する教師の答えををワークシートに書き出させ、どんな表現が使えるようになったのかを自覚させる。さらに、ねらいに沿った自己評価をさせ、生徒がどの程度自分に本時で学習したことが「身に付いた」と感じているのかを見取り、今後の指導に役立てる。

#### 4 題材の目標

- ・ALT DAY で、他校の ALT に質問したり、質問されたことに答えたりできる。
- ・who, what time~, which についての知識を身に付け、活用できる。

#### 5 指導計画（全10時間予定 本時は第6時）

時間	基本的な流れ	伸ばしたい（身に付けたい）資質・能力		主な言語活動	評価の観点			
		知識等	表現力等		コ	表	理	言
評価規準	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	アイコンタクトや自然な相づちを意識して、自分から相手に質問をしたり、答えたりすることができる。						
	表現の能力	疑問詞(who, what time~, which)を用いて相手に適切に質問したり、答えたりすることができる。						
	理解の能力	疑問詞を用いた疑問文を正しく聞き取ったり、読み取ったりすることができる。						
	言語や文化についての知識・理解	疑問詞に関する知識を身に付けている。						
第1時	<p>新出言語材料の用法や意味について理解する。</p> <p>教科書本文を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞 who の使用方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・who の意味を理解し、聞きたいことを聞く力</li> <li>・教科書の概要をとらえ、本文に関する質問に答える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JTE と ALT のモデル会話を聞き、3人組で会話練習に取り組む。動詞や名詞を入れ替えながらパンプラクティスをする。</li> <li>・教科書本文の概要をとらえ、本文に関する質問に答えることができる。</li> </ul>			○	◎
第2時	<p>新出言語材料や既習表現を用いて表現する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞 who</li> <li>・三人称単数現在形の疑問文 Does he/she~? の使用方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペアや3人組で積極的に英語を用いて活動しようとする態度</li> <li>・who の意味を理解し、聞きたいことを聞く力</li> <li>・聞き取った情報を、三人称単数現在形を用いて説明する力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JTE と ALT の持っている写真の人物について、疑問詞 who や三人称単数現在形の疑問文を用いて質問する。</li> <li>・3人組で集めた情報を伝え合う。</li> </ul>	○	◎		
第3時	<p>新出言語材料の用法や意味について理解する。</p> <p>教科書本文を理解する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞 what time~? の使用方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・what time の意味を理解し、現在の時刻や、1日のスケジュールなどを聞いたり答えたりする力</li> <li>・教科書の概要をとらえ、本文に関する質問に答える力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新出言語材料を用いてパンプラクティスをする。</li> <li>・教科書本文の概要をとらえ、本文に関する質問に答えることができる。</li> </ul>			○	◎
第4時	<p>新出言語材料や既習表現を用いて表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疑問詞 what time~? の使用方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・what time~? の意味を理解し、聞きたいことを聞いたり、相手の答えを聞き</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・JTE と ALT の1日のスケジュールについて、what time do you~? を用いて</li> </ul>	○	◎		

	現する。		取ったりする力 ・聞き取った情報を、 三人称単数現在形 を用いて説明する 力	質問したり、答え たりすることができる。 ・3人組で集めた情 報を伝え合う。				
第 5 時	新出言語 材料の用法や意味 について 理解す る。 教科書本 文を理解 する。	・疑問詞 which の使 用方法	・ペアや3人組で積 極的に英語を用い て活動しようとする 態度 ・which~?の意味を理 解し、「どちらが ~ですか?」とい う質問をしたり答 えたりする力	・新出言語材料を用 いてパンプラク ティスをする。 ・教科書本文の概要 をとらえ、本文に 関する質問に答え ることができる。			○	◎
第 6 時 (本 時)	新出言語 材料や既 習表現を用いて表 現する。	・疑問詞 which の使 用方法	・疑問詞 which の意 味を理解し、聞き たいことを聞いたり、 答えたりする 力。 ・聞き取った情報を、 三人称単数現在形 を用いて説明する 力	・JTE と ALT の好 きなものなどにつ いて、情報を集め る。 ・3人組で集めた情 報を伝え合う。	○	◎		
第 7 時	他者の紹 介文を書 く。	・三人称単数現在形 の使用方法	・インタビュー活動 で集めた情報をも とに、インタビ ュー記事を書く力	・インタビュー活動 で得た情報をも とに、インタビ ュー記事を作成する。		◎		○
第 8 時	新出言語 材料や既 習表現を用いて表 現する。	・疑問詞の使用方法	・疑問詞を用いて、 聞きたいことを聞 いたり、相手の答 えを聞き取ったり する力	・ALT DAY を利用 して、他校の ALT にインタビュー形 式で質問をした り、答えたりする。	○	◎		
第 9 ~ 10 時	新出言語 材料や既 習表現を用いて表 現する。	・三人称単数現在形 の使用方法	・適切な既習表現を 使って、インタビ ュー記事を書く力	・ALT DAY で得た 情報をもとに、イ ンタビュー記事を 作成する。		◎		○

6 本時の学習（6 / 10）

(1) ねらい

疑問詞 which を用いて、質問したり、答えたりすることができる。

(2) 準備

生徒：ワークシート、英語ファイル、教科書、ノート

教師：ワークシート、マイク

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価
1 挨拶をする。  2 帯活動を行う。 ① Speaking Drill ② 単語の発音練習 ③ 前時の復習	10分	○既習事項や復習事項に継続的に触れることで、基礎を定着させる。 ○3人一組で活動することにより、「話すこと」「聞くこと」の機会をつくり、会話活動に取り組む意欲を高める。
3 本時のねらいを確認する。  4 教師のデモンストレーションを見て、本時の活動内容を理解する。	5分	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <b>Today's goal</b>              「どちらが好きか」聞いたり、答えたりできるようになろう           </div> ○良い例と悪い例を両方示し、アイコンタクト等の必要性を意識させる。
5 Which を使ったインタビュー活動を行う。(interaction) (3人組の班活動) ① 教師へのインタビュー ② 班員同士のインタビュー ※列ごとにローテーションで行う。  〈予想される生徒の会話〉  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             Student :Which do you like, cats or dogs?              教師: I like cats. They are cute.              Student: Oh, I see. Which do you like, apples or oranges?              教師: I like apples. They are tasty.              Student: Thank you.           </div>	25分	○生徒からの質問だけでなく、教師からも質問をする。 ○教師がマイクを持ち、意図的に英語が得意な生徒を指名することによって、インタビューをスムーズに始められるようにする。 ○三つの班ごとに2分30秒交代でインタビューを行わせる。2分はインタビューの時間とし、30秒は席についてインタビューしたことをメモにまとめる時間とする。 ○教師が分担し、情報を聞き取れなかった生徒に対しては、英文のメモを渡して、そこから情報を書き出させる。 ○グループ内でインタビューの練習を行わせ、時間内でできるだけ多く発話させる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             ≪表現の能力≫              Which を用いて、「どちらが好きか」質問したり、答えたりしている。(観察・ワークシート)           </div>
6 メモしたことをもとに、取材した先生についての情報を3人組の班で伝え合う。(production) 〈生徒の発話モデル〉  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             Hello. Let's talk about Tristan. He likes dogs. He likes miso ramen. That's all. Thank you.           </div>	5分	○発表がうまくできない生徒に対しては、モデル文を示す支援を行う。

<p>7 学習の振り返りをする。</p> <p>①本時の活動で自分が使えた which の疑問文とその答えを、ワークシートに書き出す。</p> <p>②ねらいに対する自己評価を ABCD で記入する。</p>	<p>5 分</p> <p>○ ALT との会話を文にすることで、自分が適切な質問ができたか、聞きたかった答えが得られたか、という確認をさせる。</p> <p>○進度が速い生徒には、インタビュー記事を書かせる。</p>
--	---

7 板書計画

Thursday, November 17, sunny

Today's goal      どちらが好きか尋ねたり，答えたりできるようになろう

<p style="text-align: center;">2 minutes interview</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Group1</td> <td style="padding: 5px;">S1 → Tristan</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px;">S2 → Mr. Arai</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"></td> <td style="padding: 5px;">S3 → Ms. Fujiu</td> </tr> </table>	Group1	S1 → Tristan		S2 → Mr. Arai		S3 → Ms. Fujiu	<p style="text-align: center;">1 minute interview</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Group2</td> <td rowspan="3" style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px;"> </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;">Group3</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px;"></td> </tr> </table>	Group2		Group3	
Group1	S1 → Tristan										
	S2 → Mr. Arai										
	S3 → Ms. Fujiu										
Group2											
Group3											